



東川園長ごあいさつ～震災の記憶を未来へつなぐ日～

2026
ひょうご
安全の日の
つどい

1月17日は「ひょうご安全の日」でした。阪神・淡路大震災の記憶を風化させず、命の尊さと防災の大切さを次の世代へ伝える日です。今年で30年。あの日、兵庫の街は一瞬にして姿を変え、多くの命が奪われました。私自身も、あの朝の静寂を破る激しい縦揺れの中で我が子の命を守る行動をしたことや街に広がる混乱を今でも鮮明に覚えています。

震災を経験した兵庫県は、「共に支え合い、共に生きる社会の実現」を基本理念に掲げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてきました。特に障害のある子どもたちやそのご家族にとって、災害時の避難は大きな課題です。県内各地で福祉避難所の整備や個別避難計画の支援が進められる中、明石市でも地域に根ざした取り組みが行われています。

そのひとつが、明石市福祉総務課が中心となって進める「大久保北部福祉避難所連絡会」です。この連絡会では、地域の福祉施設や関係機関が連携し、災害時における支援体制の確認や、避難所運営の実践的な訓練を重ねています。平時から顔の見える関係を築くことで、いざという時に迅速かつ丁寧な支援ができるよう備えています。

私たち児童発達支援センターも、こうした地域のネットワークと連携しながら、子どもたちの命と安心を守る取り組みを続けています。震災の教訓を胸に、地域と共に支え合いながら、安全で安心な環境づくりに努めてまいります。



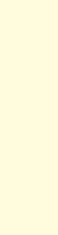
ひまわりっこクラブ～繋がり・分かち合い・楽しむ～

2025年12月26日(金)にきょうだい児イベント「ひまわりっこクラブ」のクリスマスパーティを行いました。自己紹介の順番を決めるためのミニゲームを行った後、自己紹介と『2025年いちばん頑張ったこと、楽しかったこと』の発表をしてもらいました。皆の前で発表することに緊張感もあったと思いますが日々の生活の中で楽しかったことや思い出、習い事等で頑張ったことなどを話す姿、皆が真剣に聞く表情や姿勢がとても心温まる時間となりました。その後チーム戦で紙コップ積みゲームを行いました。高く積み上げたり、一度も崩れないように慎重に積み上げたりとそれぞれに協力して行い応援も飛び交い団結力が感じられました。クリスマスクッキングでは、好きなお菓子を選んで飾りつけを行い、一生懸命取り組む姿や隣のお友達と「こんなのが作ったよ」と皆が「できた！」と満足のいくお家が完成しました。時には静かに耳を傾け、ゲームでは盛り上がり会を重ねるごとに打ち解ける様子が見られて嬉しく思います。ゆりかご園が楽しいと思ってもらえる場であること、きょうだい児さん同士が繋がり悩みや困りごと等の思いを分かち合える場となるよう今後も企画していきたいと思います。ご参加いただきありがとうございました♪

(丸喜)



お菓子で作った家の完成



ふりかけプロジェクト～陶芸教室それぞれの思いを形に～

重度な障害のある方への余暇を通じた生涯学習支援「通称ふりかけプロジェクト」の開催が10回目となりました！

ふりかけプロジェクトの記念すべき10回目は、当事者様の「陶芸をやってみたい！」というお声を頂き実現しました。

今回7組の当事者様が参加されました。四肢麻痺のある方や視覚障害のある方もおられましたが、粘土を叩いた時に凹む立体的な感触や音、温度感などを感じながら、自分で選んだ好きな食器作りに打ち込めた経験は、参加者個人の成長だけでなく、友達との繋がりを深める機会でもあったと思います。

陶芸教室の福井先生から生涯学習の一環として、粘土から陶器ができるまでの過程を視覚的に提示して頂いたことで、初めての方でも製作の順序や完成までの見通しを持って取り組めたと思います。

ふりかけプロジェクトを繰返し実施することの強みは、障害の枠を超えて当事者様同士の交流、社会参加と活動の拡充だと実感しています。

引き続き当事者様の目線に立った余暇支援と生涯学習を企画・運営できるように努めて参ります。

(十田)



もちつき大会～日本の伝統行事に触れました～

1月22日(木)ゆりかご園で、もちつき大会を実施しました。総勢33名の方が参加してくださいました。今年は大寒波の中でしたので初めて室内で開催させていただきました。

今年は、りす組さんは2時間目、うさぎ組さん、ぱんだ組さんは3時間目に分かれて、もちつき体験を行いました。もち米、蒸したもち米、できたてのおもちを見たり触ったりする中で興味をもったのか手を伸ばして触れる園児さんもいました。もちつきが始まると、「よいしょ」の掛け声に合わせて、迫力のあるもちつきに身を乗り出して楽しむ姿が見られました。それから、園児さんも一人ひとり、もちつきを体験しました。園児さん自ら杵を手にもって笑顔でついたり、真剣についたり個々に思い思いに楽しむ姿が見られました。最後に、試食では、初めておもちを食べた園児さんがいたり、おもちを完食した園児さんが足りなくて親御さんのおもちも食べたりする程の人気ぶりでした。又、今回は安全面に配慮し、初めて、ついたてのお餅も希望のあった園児さんに提供させていただきました。事前に、用意していたお餅よりも、ついたてのお餅を選ぶ園児さんもいて新しい取り組みでしたが、喜んで頂けて良かったです。

少しでも、日本の伝統行事でもあるもちつきの雰囲気を味わい楽しんで頂けてたら幸いです。保護者の方もお忙しい中ご参加してくださりありがとうございました。

(柳瀬)



社会福祉法人三田谷治療教育院

明石市立ゆりかご園

〒674-0051 明石市大久保町大窪2752

TEL. 078-918-5574 FAX. 078-918-5579

E-Mail : yurikago@sandaya.or.jp

QR
コード
園